



～ 夢ひとすじに～

宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 25 年度 特別号 ①

平成 25 年 12 月 24 日 (火) 発行

さいたま市立宮原中学校

メールアドレス

miyahara-j@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス

<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>



「ほかほか言葉」

校長 山下 誠 二

寒さが厳しくなってきましたが、これまで進めてきた「さわやかなあいさつ」「校歌を大切に」「靴のかかとを揃える」について、各家庭での生徒の様子はいかがでしたか？3学期も継続して取り組んでいきますのでよろしくをお願いします。

今日は終業式です。2学期の通知表が生徒たちに渡されます。

「よかった、悪かった」とだけ、見るのではなく、どの教科のどんな学力で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果があがったのかなど、子どもの努力の様子をご確認ください。

「目標としてきた力がついたか」「思いやりの心が育っているか」など、子どもの姿をよく見つめ、成長したところは誉め、もう少しのところは励まし、さらに確かな力と心を育ててやりたいものです。

さて、傷つき、心を痛めてしまう言葉があるように、それとは逆に勇気をもらう言葉があります。例えば、試合やゲームなどの時に使う「ドンマイ」や「ナイス」という言葉について考えてみたいと思います。ドンマイは、失敗したときなどに、相手を励ます言葉としてあります。どんな意味があるかというところ、「気にするな」「もう少し」「がんばれ」「次がんばればいい」「大丈夫」「いいよ、いいよ」等です。また、ナイスは、見事うまくいった時など、相手を認める言葉です。「すごい」「すばらしい」「立派だ」「やったね」「ベリーグッド」「その調子」「教えてくれてありがとう」「いいね」等の意味が込められています。

これらは、「ほかほか言葉」、「ほかほか言葉」、「あったか言葉」と言って、心も体もほかほかになります。是非、宮原中の生徒たちには、ドンマイやナイス等の「ほかほか言葉」をたくさんみつめて、使ってほしいと思います。友だちとよりよい関係をつくり、よりよくなるためには、この「ほかほか言葉」は欠かせません。

私たち教職員も子どもたちを指導する上で大切にしたいのが、言語環境と仕草です。いつも笑顔で対話しているか。人権に配慮しているか。感情表現は豊かか。声の張りや抑揚はどうか。子どもの悩みに真摯に答えているか。自分が言われて嬉しい言葉を相手につかっているか。誉めているとき、叱っているときのメリハリは適切か。等々……。大切にしていきたいと思っています。

子どもの心を育て、力を伸ばすために大切なこと、それは「自信」をつけることです。

クリスマスやお正月も近づきましたが、品物やお年玉とは別に、子どもの「自信」につながる「ほかほか言葉」もプレゼントしてあげてください。きっと、笑顔いっぱい「自信」を輝かせてくれることでしょう。それでは、よいお年をお迎えください。

☆3歳坊やの「ほかほか言葉」



あのねママ ボクどうしてうまれてきたのか してるよ
ボクね パパとママにあいたくて うまれてきたんだよ